

札の辻

札の辻は山口県北部の萩市と南部の防府市の間を走る歴史街道萩往還にある交差点です。ここでもう一つの旧街道である石州街道と萩往還が交差しています。江戸時代（1603年－1867年）には現在の山口県と島根県の間を行き来する人々が集まり、札の辻は萩往還で最も混雑する地点の1つでした。これらの交差点では高札場と呼ばれる掲示板に、告示、地域法規、指名手配者通知などの公告が掲示されていました。

山口市と萩市の間を旅行する観光客は、萩城跡の東、萩往還の始点にある復元された高札場を見ることができます。